

令和3年度 学校関係者評価委員会の報告

学校関係者評価委員会 委員長 黒木 美枝

令和3年度の学校関係者評価の結果、以下のとおり報告いたします。

I 重点目標について

富士中では、重点目標として『時代の要請に応じた学力向上に取り組み、学びの充実を図る』『自律と自信を大切にし、学校生活での充足感を味わわせる』『心身の健康に努め、自分が属する集団への愛情と誇りを育てる』の3点を挙げ、それぞれに数値目標を設定しています。

『時代の要請に応じた学力向上に取り組み、学びの充実を図る』では学校関係者評価アンケート生徒独自項目『わたしは、意欲的に学習に取り組み、よく考えようとしている。』の肯定的評価80%以上を目指しています。生徒の肯定的評価は73.2%で前年を0.2%下回り、「思わない」「わからない」の回答が0.7%増えました。目標値はクリアできませんでしたが、ほぼ前年に近い数値で、「とても思う」の数値は1.7%増えています。また、生徒の『先生は、課題について、自分で考えたり、友達と考えたりする時間を作っている。』は86.6%で、『先生は、生徒の意欲を大切にしている。』の肯定的評価は86.9%でした。ともに80%を超えています。引き続き細やかな対応と、生徒自ら考え、課題解決を図ろうとする粘り強い授業創りをお願いします。

『自律と自信を大切にし、学校生活での充足感を味わわせる。』ではアンケートの生徒独自項目『学校生活は達成感がある。』の肯定的評価80%以上を目指しています。生徒の肯定的数値は75.5%で前年度より3.5%増えています。残念ながら目標値には届きませんでしたが、『私は、ルールを重んじ、他者を思いやろうとしている。』は生徒の肯定的評価は83.6%で、『私は、ノーチャイム制によって、時間を意識している。』でも85.9%と、高い数値を示しています。他者に貢献できる基盤は育まれていると読み取れます。「自律」と「貢献」を意識した富士中プライドの醸成に期待します。今後も地域と連携したボランティア活動や体験活動への啓発を進めて下さい。

『心身の健康に努め、自分が属する集団への愛情と誇りを育てる』では学校関係者評価アンケート生徒対象『私は、富士中生の一員としてより良い学校生活や人間関係を築こうとしている。』の肯定的評価85%以上を目指しています。生徒の肯定的評価は82.7%で昨年度より0.1%増えました。今年度は昨年より目標値を高くした事もあり、クリアしていませんが昨年同様80%以上です。保護者の『本校の学校生活は子どもにとって楽しい。』の肯定的評価は85.3%で、昨年より2.2%増え、クリアしています。コロナ禍の状況にもかかわらず数値が伸びたのは先生方のご努力と子どもたちの頑張り、保護者・地域の皆様の支えや見守りがあったからだったと思います。また、1年生の入学時前後の円滑な小中学校移行や教育相談、学習カウンセリングなどの定着も数値に表れていると思われます。しかし、Q-U調査における学級生活不満足群に属する生徒の約2割が「思わない」と評価しています。引き続き意欲的に学校生活が送れるための、個に配慮した対応の継続をお願いします。

II 家庭・地域との連携・協働による教育について

地域運営学校に指定されて13年目になりました。クリーン作戦、避難所運営訓練、古着回収、挨拶運動や代沢地区文化スポーツ交流会等の地域活動・ボランティア活動をとおして、地域との交流を図っています。地域貢献活動の場所を、学び舎内の小学校と幼稚園、地域内の児童館に広げ、自己の判断で参加しやすくし、「in (地域の中で) with (仲間と一緒に) for (地域のために)」の取り組

みも行われています。今年度6月には450着の古着と使用しない文具を生徒代表が地域内にあるアンゴラ大使館を訪ね、アンゴラの子どもたちのために寄付をしました。世界の現実に目を向け、行動を起こす、素晴らしい取り組みです。アンケート生徒独自項目『学校生活は達成感がある。』は昨年度の肯定率72%から75.5%に上りました。富士中プライドの醸成が数値に表れています。今年度もコロナ禍により、家庭・地域との連携・協働を図れなかったものもありましたが、次年度も、こうした活動の再開・促進を望みます。

Ⅲ 「世田谷9年教育」で実現する質の高い教育活動の推進

富士中は学習の「質と量」を常に大切にしています。質としては、数学・英語における「少人数習熟度別授業」の実施、教員による授業研究・授業観察を実施し、指導方法の工夫に取り組んでいます。併せて各教科において「ICT活用授業」の推進を図っています。アンケートの生徒独自項目『漢字検定、数学検定、英語検定のためのキャリアアップ講座や放課後学習・学習相談は富士中生にとって役立つ取り組みだと思う。』では生徒の肯定的数値は83.7%で高評価でした。さらに、夏季補習教室・区土曜講習会・朝学習（1年生「コミュニケーションタイム」）等も定着しています。量としては、授業時数の確保に努めています。

世田谷9年教育にのっとり「せたがや11+（イレブンプラス）」として小学校3校と多聞幼稚園、富士中とで計画的に連携が行われており、活動は継続され、安定しています。しかし、生徒の学び舎に関する『学び舎の小学校に行ったり、小学生が来たりする機会がある。』のアンケート結果では、「あまり思わない」「思わない」「わからない」の否定的回答の数値が43.9%でした。全校生徒への情報提供が必要であると思われます。保護者の『本校は、近隣の（幼稚園）小・中学校で構成する「学び舎の区立（幼稚園）・小学校について、情報が提供されている。』は43.9%が否定的な回答でした。「富士中だより」～学び舎通信～欄に、毎回情報が載っています。また、ホームページからも情報提供が行われています。ご確認頂ければと思います。今後も富士中プライドの醸成につながる学び舎の連携に期待します。

11月に「小中クリーン作戦」が実施され、小学校の回りのゴミ拾いのボランティア活動がされました。12月には古着回収と、池尻・三宿クリーンデーも開催されました。

今年度「新入生児童・保護者説明会」は10月に小学校ごとに開催されました。生徒の力で作り上げた富士中PR動画はとても好評でした。富士中PTAによる「ツアーガイド」も昨年同様好評でした。参加された富士中PTAの皆様に感謝いたします。また、11月には不登校生徒のための保護者説明会も実施しています。入学に関する相談も受け付けています。様々な学び舎の取り組みと、情報提供の継続を今後もお願いします。

広報活動・情報提供については保護者の『本校は、様々な便りなどで、保護者に情報を提供している。』の肯定的数値は90.9%でした。地域の『学校からのお知らせ（学校だより）などにより、学校の様子がわかる。』は100%で、ともに高数値でした。しかし、保護者の『本校は、地域に情報を提供している。』では43.9%の保護者が「あまり思わない」「思わない」「わからない」の否定的な回答を回答しています。保護者・地域の情報交換に工夫が必要と思われます。

コロナ禍の影響で職場体験学習は今年も中止になりましたが、10月に鎌倉校外学習の予定を早め、事前学習も行われました。今できる事を工夫して努力しています。重点目標である『時代の要請に応じた学力向上に取り組み、学びの充実を図る』ことや『自律と自信を大切にし、学校生活での充足感を味わわせる』こと、これら「質と量」を大切にする取り組みは、今後も維持に努めてください。

さらに、ゲストティーチャーの講義は毎年工夫されており、進路指導（キャリア教育）に活かされています。また、『部活動は、楽しい。』の生徒・保護者の肯定的数値はともに8割を超える数値です。今後も保護者会での部活動の説明や「部活動紹介」の実施、「仮入部期間」の説明など、より丁寧な対応をお願いします。

IV 信頼と誇りのもてる学校づくりについて

学校についてのアンケートでは、生徒の『先生は、課題について、自分で考えたり、友達と考えたりする時間を授業の中で取っている。』と『先生は、生徒の意欲を大切にしている。』では生徒の評価はいずれも80%以上の高評価でした。『本校は、子どもの意欲を大切にしている。』の保護者の肯定的数値は84%で、昨年より6%上がっています。また、『先生たちは、生徒が相談しやすい。』は生徒68.1%、保護者79.5%でしたが、ともに昨年よりわずかに数値は上がっています。生徒への手厚い対応と保護者への情報提供が必要かと思われます。

安全管理については、保護者の『本校は、安全な学校づくりを進めている。』は80.3%で、地域の『学校は、安全性を高めようと地域と協力している。』は81.8%で高評価でした。しかし、自然災害時の情報提供について保護者の『本校は、自然災害時の対応を子どもや保護者に提供している。』は昨年の78.7%から76.9%に下がりました。保護者への更なる情報提供が必要と思われます。定期的に行われている安全指導や避難訓練、地域との連携による避難所運営訓練、災害時対応など、保護者・地域の方々とともに、安心・安全な学校づくりへ更なる努力と、密な連携をお願いします。

ホームページに関しては保護者・地域ともに昨年度よりプラスになり、地域は81.4%でした。保護者に関しては90.9%と高い評価になりました。評価は改善されています。広報活動や情報発信に引き続き努力をお願いします。

学校図書館を読書センターと学習センターの両面で機能させていく取り組みは定着し、パソコンも設置されe-ラーニングもでき、図書館利用の生徒は増えています。しかし、『私は家庭で宿題やe-ラーニングなどで学習をしている。』では生徒・保護者ともに5割程の肯定的評価でした。区推奨のA1型教材「キュビナ」活用の影響もあるかと思われます。コロナ禍において、常に工夫が求められる状況です。学校運営の今後の取り組みに期待します。また、道徳授業地区公開講座などの土曜授業日への保護者・地域の参加促進を図る「知らせる取り組み」は今後も継続をお願いします。保護者・地域の皆様が学校に足を運ぶ事はとても重要な事です。

V 安全安心と学びを充実する教育環境の整備

世田谷区の耐震診断調査の結果は「校舎棟および体育館棟とも引き続き通常の使用が可能である」でしたが、昨年度、体育館の耐震補強工事が行われました。さらに、今年度は校舎の耐震補強工事が行われ、11月に終了しました。また、1階に自動検温器も配備されました。校内現況や衛生面など更なる安全確保の向上に向け地域・保護者・学校の共通の認識を深めるための工夫・改善の継続を図ってください。

VI 学校生活全般について

スクールカウンセラーによる相談活動の充実を図る取り組みは定着していて、個に応じた対応ができます。毎年1年生対象に「全員面接」も行われ、「富士中だより」に毎回掲載されている「教育相談・スクールカウンセラーより」は生徒・保護者の皆様に向け情報提供されています。

学校全般についての質問項目、学校行事についての『学校行事は、楽しい。』では生徒・保護者ともに8割以上の肯定的評価でした。保護者においては91.6%と子どもたちを上回っています。学校・保護者・地域に見守られ成長していく子どもたちの様子が見て取れます。「学校が好きで、友達と一緒に学べるのが楽しい」と思える環境作りや丁寧な個々への対応になお一層の尽力をお願いします。

VII 学校評価委員会の総合所見

評価委員会としては、まず先生方の日常の努力に感謝いたします。

- 1 教職員による自己評価アンケートの内容はかなり具体的で、改善策が打ち出しやすい形式になっています。また、『豊かな人間性と教育への情熱をもつ教職員』『協力し、助けあえる教職員』『自己を高める意欲の旺盛な教職員』『生徒のモデルとなる教職員』という「めざす教職員像」を打ち出し、地域の学校として意欲的に取り組んでいることがわかります。
- 2 今年度もコロナウィルスの影響で、誰もが経験した事のない現実と向き合っています。今まで当たり前だった事の大切さを痛感しているのではないでしょうか。コロナ禍で行動に制限があるなかでも、ほとんどの生徒たちは富士中が好きで、楽しく学校生活を送っていることがわかります。しかし約2割の生徒に対して丁寧な対応が必要です。また、『私は、家庭で宿題やe-ラーニングなどで学習をしている。』『学び舎の小学校に行ったり、小学生が来たりする機会がある。』『私は、体力の向上や健康な生活に取り組んでいる。』などの「わからない」という回答の多かった結果への今後の工夫と改善の努力を望みます。生徒たちにとって最大の教育環境は教師自身の姿そのものであり、人間としての豊かさや広い分野での教養を求められると思います。学習面でも「質と量の確保」をこれからも続けていただくとともに、生徒たちと向き合う時間の確保にも尽力をお願いしたいと思います。また、各御家庭・地域の皆様におかれましても、手本となる良き家庭環境・地域環境として温かく子どもたちを見守っていただきたいと思います。
- 3 「富士中だより」に「先輩通信」が掲載されています。卒業生の体験談は進路に役立つ貴重な情報です。在校生へエールを贈るこの取り組みの継続をぜひお願いします。
- 4 アンケートの自由記述の要望から標準服見直し検討委員会が設立され、令和4年度1年生からの新標準服が決まりました。今年度は服装を考える日を増やしてほしいとの要望もありました。アンケート結果の統計だけでなく子どもたちの声を生かした今後の取り組みに期待します。
- 5 学校を取り巻くいろいろな環境が、年々、整備かつ改善されていることを評価いたします。なお、継続する課題につきましては、引き続き検討をお願いします。

学校関係者評価委員会	委員長	黒木 美枝
	委員	中村 説子
	委員	森 奈弓
	委員	三島 祥子
	委員	中村 みどり
	委員	樋口 曜子
	委員	津田 拓大